

学生と職員の協働へ ーピア・サポートの理論と実践からー

佐々木 菜々（広島修道大学 入学センター 入学課 主事）

講師略歴

平成 26 年に広島修道大学入職。図書館配属となり、図書館ピア・サポーターの育成・指導やピア・サポートプログラムの運営、利用者教育、図書館の広報などを経験。平成 29 年に入学センターに異動。高校生向けのガイダンスや広報物の作成、サイト分析などを担当。毎年約 100 名の学生スタッフとともにオープンキャンパスをはじめとした学生募集イベントの企画・運営に取り組む。日本ピア・サポート学会所属。

プログラム概要

2000 年に「廣中レポート」で学生中心の大学への転換や正課外活動の重要性が提示されて以降、多くの大学で学生支援のための取り組みが展開されてきました。

本プログラムでは、その中でも、学生が支援する側となり、職員と協働して行う学生支援活動を題材とします。より教育効果の高い活動とするための考え方や手法について、“指導者のもと仲間同士で援助し学びあう教育的な実践活動である”ピア・サポートの理論と実践に基づいてお話しします。

まず前半の理論編では、ピア・サポートの定義やピア・サポートプログラムの構造などについて説明します。続いて後半の実践編では、本学図書館と入学センターにおける活動事例をご紹介します。また、皆さんに学生対象の研修で行っているコミュニケーションのワークを体験していただく予定です。

「初めて学生支援活動の担当になり、学生との関わり方に悩んでいる」「学内でピア・サポート活動をやってみたいけど、何から始めれば良いか分からない」「職員として、学生支援に関する知識・スキルを身につけたい」そんな皆さんのご参加をお待ちしております。

主な受講対象者

以下のような職員の方（入職 1～10 年目くらい）の参加を想定しています。

- ・学生と職員が協働して行う学生支援活動の担当者
- ・学生支援業務やピア・サポートに興味のある方

到達目標

1. ピア・サポートの理論を理解し、説明できる。
2. プログラムで学んだピア・サポートの知識・スキルを業務や日常生活で活かすことができる。
3. 所属大学における学生支援活動の企画ができる。

日時

8 月 27 日(金) 15 時 00 分～17 時 00 分